



「2・26は寒かった」

校長 上原 浩

現在、社会科の歴史では、年号そのものを覚えることには重きを置かず、歴史の流れや「なぜそうなったのか?」といった原因を調べて考えることを重視しているようです。私が中学の頃は、単語や漢字と共に年号を覚えることに何の違和感も持たず、語呂合わせを楽しみながら覚えていました。2・26事件と言えば、1936年2月26日に起きたクーデター未遂事件で、ドラマや映画では大雪の東京が舞台に描かれています。「2・26事件は雪が積もった1936年に起きたから、『2・26は寒(さむ・36→1936年)かった』でいこう」と覚えました。近頃、物覚えが悪くなりましたが、まだ覚えているから不思議です。5・15事件は、「いくさに(1932)なるぞ5・15」で覚えました。他にも「月・日」をある出来事の代名詞にしているものはたくさんあります。では、「1・17」は?

1995年(平成7年)1月17日、5時46分、兵庫県の淡路島北部沖付近を震源として発生した兵庫県南部地震(マグニチュード7.3)により、近畿圏の広域が大きな被害を受けた「阪神・淡路大震災」が発生しました。1月の道徳で2年生は少し触れています。震源に近い神戸市市街地の被害は甚大で、当時東洋最大の港であった神戸港も大きな被害を受けました。犠牲者は6,434人に達し、第二次世界大戦後に発生した地震災害としては、東日本大震災に次ぐ被害規模でした。被災地への災害ボランティアが大きく広がったのは、この震災が契機でした。また、家屋倒壊の被害が大きかったのも、この後、耐震基準も高められました。

私はこの日、スキー教室(自然教室)で猪苗代湖に行っていました。起床時間が近づいたので、部屋のテレビを点けると、とんでもない映像が目に飛び込んできました。よじれて倒壊した高速道路、市内から立ち上る幾筋もの黒煙。「こんな時にスキー教室をやっている場合ではないだろう」と思ったことを鮮明に覚えています。特に高速道路は、幼いころから父に「日本の高速道路は、他の国と比べて耐震基準が違う。地震で倒れるものではない。」と聞かされていたので、余計に衝撃を受けました。10年程前に、震源に近く、断層が地表に現れた「野島断層保存館」と神戸市内にある「阪神淡路大震災記念人と防災未来センター」を訪れました。自然の驚異と「1・17」を風化させずにつないでいこうとする姿を感じました。あれから26年が過ぎ、当時スキー教室に参加していた生徒たちは、40歳になります。

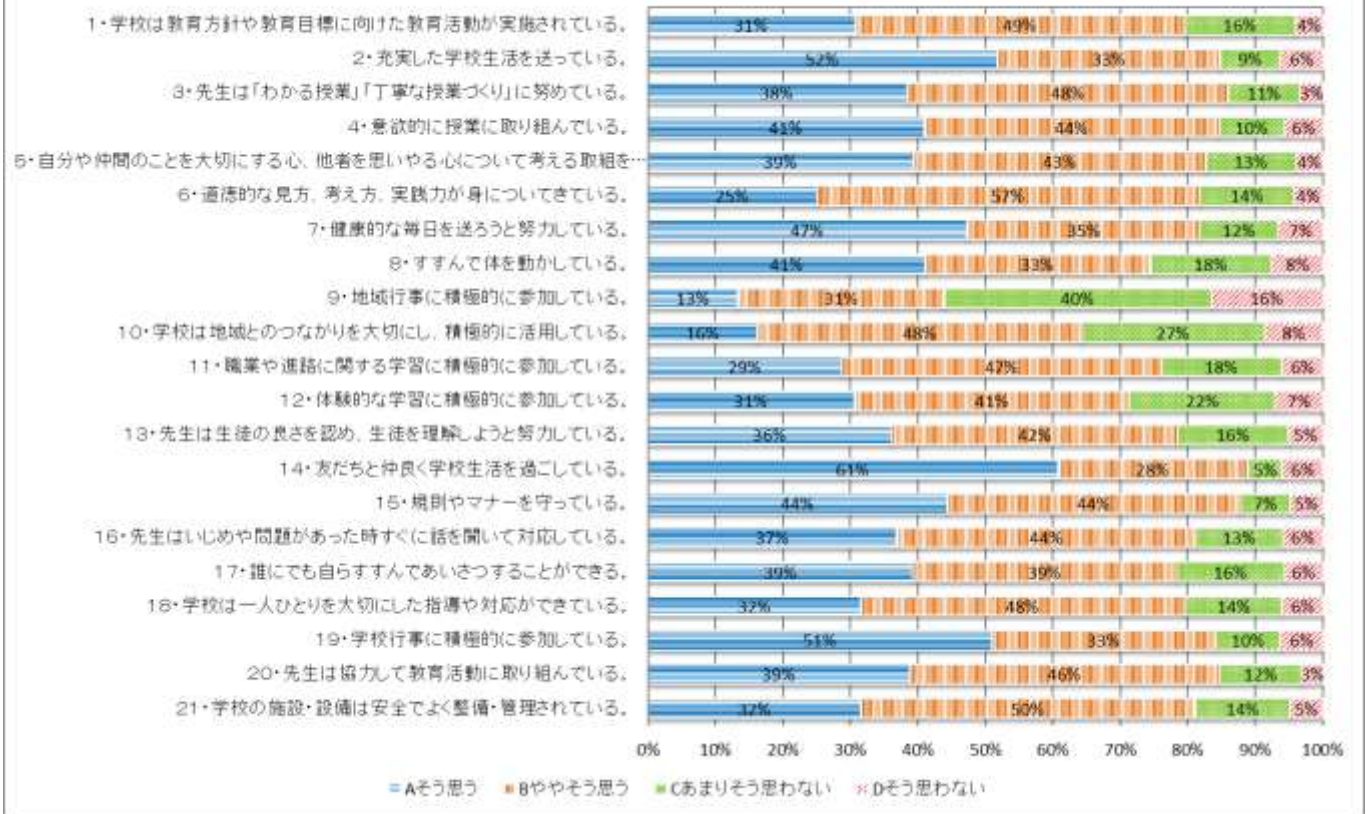
「3・11(東日本大震災)」も発生から間もなく10年を迎えようとしています。3年生は当時4歳か5歳。あの日あの時間、どんなことを覚えているのでしょうか?また、その後現在に至るまでどんな事を見聞き何を感じたのでしょうか?あと数年もすれば、3・11当日を記憶している中学生はいなくなります。経験したこと、伝え聞いて感じたことは受け継ぐ義務があり、学校はそれを学ぶ場でもあると思っています。

※ 東京・横浜に大雪が降るのは、冬型が一時的にゆるんで低気圧が南岸を東進することと、上空に寒気が流入するという条件が揃った時に生じます。1・2度違うだけで大雪になったり、冷たい雨になったりします。成人式や旧センター試験の日に雪が降るのは珍しい事ではありません。2・26事件の当日も実際に降雪がありましたが、この日の朝から積もっていた雪は、数日前に降ったもの(2月23日に東京で36センチの積雪が記録)だということです。また、赤穂浪士の討ち入り(忠臣蔵)は旧暦12月14日に起きたので、以前は年末によく放送されていましたが、新暦では1月30日にあたるので、似たような気象条件で降った雪のようです。

※ 神戸と横浜は同じ港町で共に中華街もあります。1923年(大正12年)9月1日の関東大震災では、横浜港も壊滅的な被害を受けました。復興事業として震災の瓦礫を埋め立てて造ったのが山下公園です。



令和2年度学校評価 ～生徒アンケートから～



令和2年度は、2か月にも及ぶ臨時休業から始まり、これまで経験のなかった1年になりました。国・市共に学力・学習状況調査は中止となりましたが、例年通り「学校評価アンケート」を行いました。上のグラフは生徒の回答ですが、保護者の回答もほぼ同様な傾向です。数値的には保護者の方の回答がやや厳し目に出ています。「2 充実した学校生活を送っている」の問いに対し、「A そう思う」「B ややそう思う」と回答した生徒は85%（前年比+13ポイント）、「3 先生は分かる授業に努めている」ではA+Bで86%（前年比+9ポイント）、「13 先生は生徒を理解しようと努力している」ではA+Bで78%（前年比+6ポイント）と、コロナ禍において前年より改善しているであろう数値にはいささか救われますが、「C あまりそう思わない」や「D そう思わない」と答えた生徒も少なからずいるのも事実です。そう答える生徒がゼロになることを目指し、今後も努力して参ります。また、「9 地域行事に積極的に参加」や「10 地域とのつながり」の項目は、生徒・保護者共に極端に低い値となっており、大きな課題の一つです。

区新春書き初め展出品作品

年明けに「校内書き初め展」が行われました。その中から次の4名の作品が「区新春書き初め展」に出品されます。

- 3年 守屋愛紗さん
- 3年 木下桜子さん
- 2年 稲葉有咲さん
- 1年 鈴木昊太さん



『卒業式』について

新型コロナウイルス感染症は予測ができない状況が続いていますが、卒業証書授与式（卒業式）は3月11日（木）に行います。卒業式は、中学校生活の中で最も大切な行事であると考えています。義務教育修了の節目をできるだけ多くの方に見守り・祝っていただきたいという思いですが、仮に「緊急事態宣言」解除された場合でも、ご来賓の方の参加はご遠慮いただき、保護者の方は1名のみのご参加を予定しております。在校生の参加もありません。誠に申し訳ない限りですが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。